

科目名 Course Name		開講年次	開講学期	曜日・時限
介護総合演習Ⅲ Care Practice Support Ⅲ		1年	後期	別途、時間割参照
単位数	授業の形態	授業の性格		履修上の制限
1単位	演習	選択	(介護福祉士養成課程 必修)	介護福祉士養成課程の学生のみ履修可
当該科目の理解を促すために受講しておくことが望まれる科目				
特になし				
同時に履修しておくことが望まれる科目				
特になし				
担当者に関する情報				
氏名	研究室の場所	オフィスアワー		電話番号・メールアドレス
久保 由佳	福祉棟2F	月～金 (授業時間を除く)		授業中に指示します
授業の概要				
介護実習に向けて高齢者の生活背景について学習し、利用者理解につなげる。また、自立やQOLの視点を持ち、社会参加や余暇活動、レクリエーション活動等を通して、その人らしい生活を支える方法について学習する。				
授業の目標				
①その人らしい生活を支える余暇活動やレクリエーションの意義を説明できるようにする。 ②現在に至るまでの出来事や文化等を調べ、高齢者の生きてきた時代をイメージできるようにする。 ③季節や行事に応じた壁面飾り等を作成できるようにする。 ④利用者との話題が増えるようにする。 ⑤利用者の自立とQOLの向上を目指し、個性を活かした余暇活動やレクリエーション活動を実施できるようにする。				
授業の方法				
社会参加や余暇活動、レクリエーション活動援助について、体験を通して考える授業とする。高齢者の生活背景を調べたり、生活に彩りを添える壁面飾りを作成するなど、個人ワークやグループ演習を多く取り入れる。				
学習の成果(学習成果)				
これまでの生活背景や現在の状況をふまえて、季節や行事等の場面に応じた工夫をしながら、生活を豊かにするレクリエーション活動を企画、提案、実施することができる。				
授業のスケジュールと内容				
第1回目	ガイダンス(授業のねらいと進め方・成績評価の方法・演習時の注意など) 余暇生活・レクリエーションの意義と目的 [講義]			
第2回目	生活とレクリエーション [講義] 【レポート1:入所および通所施設におけるレクリエーションについて、提出は次回授業時】			
第3回目	高齢者の生活背景①:演習の目的と方法、ワークの進め方 [講義と演習]			
第4回目	高齢者の生活背景②:個人ワーク [演習]			
第5回目	高齢者の生活背景③:個人ワーク [演習]			
第6回目	高齢者の生活背景④:個人ワーク [演習] *発表会は別途連絡する。			

第7回目	高齢者の生活背景⑤：流行歌や歌謡曲からみる時代背景 [演習]	
第8回目	施設におけるレクリエーション（年中行事の由来と風習、人生儀礼など） [講義]	
第9回目	生活に彩りを添える壁面飾りの作成①：演習の目的と方法、グループワークの進め方 [講義と演習]	
第10回目	生活に彩りを添える壁面飾りの作成②：グループワーク [演習]	
第11回目	生活に彩りを添える壁面飾りの作成③：グループワーク [演習]	
第12回目	生活に彩りを添える壁面飾りの作成④：グループワーク [演習] *発表会は別途連絡する。 【レポート2：壁面飾りの作成および発表会の感想と学び、提出期限は授業で指示する】	
第13回目	生活に彩りを添える壁面飾りの作成⑤：作成のポイントと留意点 [講義] 行事に合わせたカード作り（写真スクラップの作成） [演習]	
第14回目	レクリエーション・ニーズ、援助のプロセス、レク財の選択とアレンジ、社会資源の活用 [講義] 【レポート3：福祉におけるレクリエーションについて、提出は次回授業時】	
第15回目	レクリエーション活動の実際、介護総合演習Ⅳの課題（福祉用具試作品作製）の説明 [演習]	
事前・事後学習	レクリエーションに関する内容に興味をもち、関連する本や雑誌を読んだり、ボランティア等に参加すること。 講義や個人およびグループワークにおける疑問点等は教員に質問し、解決すること。	
成績評価の方法と基準		
評価の領域	割合	評価の基準
授業参加態度	30%	S評価は、①授業に集中し、必要なことはノートにとっている。②課題の提出期限を守っている。③演習に積極的に参加し、グループワークでは他学生の意見を聞いた上で、自分の考えを述べている。
レポート	30%	【レポート1】S評価：実習での体験を挙げ、利用者の行動変容を記述できている。 【レポート2・3】S評価：それまでの学習内容を振り返り、レクリエーション援助の視点で自分の考えがまとめられている。
調査報告書		
小テスト		
試験		
発表内容（態度含む）	20%	高齢者の生活背景を調べた内容と発表態度を評価する。S評価は、その時代の様子や移り変わりを詳細に調べ、イメージできるようにまとめられている。声の大きさや言葉遣いが適切であり、わかりやすい発表であること。
その他	20%	壁面飾りの作品と発表態度を評価する。評価は学生と教員で行い、①見た目 ②細かさ ③テーマとの一致 ④楽しめるか ⑤送る相手への配慮 ⑥声の大きさや言葉遣い ⑦説得力等を視点に評価する。
教科書と参考図書		
必要に応じて資料を配布する。 【参考図書】 新・介護福祉士養成講座 第6巻「生活支援技術Ⅰ」中央法規出版		
履修上の留意点・ルール		
個人ワークやグループ演習時は積極的に取り組むこと。発表会では他のグループからの学びも大切にすること。発表会の日程によっては、授業日を調整する場合がある。詳細は随時連絡する。飲食物や携帯電話等、教材以外のものは机の上に置かない。やむを得ず欠席した場合は、速やかに届け出を提出すること。		